



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：聖地列車の試運転

(5月25日付 Saudi Gazette 紙)

25日付現地紙 Saudi Gazette は、マッカ巡礼列車の試運転の開始について報じている。概要は以下の通り。

1. ハビーブ・ゼイヌルアービディーン都市村落省次官は、巡礼地アラファートで60日後に巡礼列車の試運転を開始すると述べた。
2. 列車プロジェクトの第一段階（18kmにわたる複線のインフラから成る）が完成した。
3. この列車は、時速50～70kmで、毎時7万人を輸送する能力がある。
4. このプロジェクトに携わる中国の会社は、納期に間に合わせるため、今後2～3週間に、さらに6千人の労働者を海外から雇うという。これでこのプロジェクト建設の労働者総数は14000人となる。
5. 同列車は、ウムラ（小巡礼）のためや、マッカを訪れる巡礼者が増加するラマダーンの時期に、交通事故を惹き起こしやすい従来のバスに代わる安全な交通手段として利用されることが期待されている。